

公益社団法人愛知県医師会 第2回(定例)理事会議事録

開催日時：平成29年4月20日(木) 午後3時55分～午後5時00分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／横井 隆 城 義 政

理事／吉田 貴 伊藤 健一 加藤 雅通 大輪 芳裕 西山 朗

榎尾 富二 樋口 俊寛 伊藤 富士子 細川 秀一 森 孝生

野田 正治 林 義久 羽生 田正行 浅井 清和

監事／可世木 成明 川上 雅正 野口 良樹

代議員会議長／伊藤 宣 夫

代議員会副議長／杉田 洋 一

欠席者

副会長(代表理事)／市川 朝 洋

理事／瀨 瀨 雅 明

代議員会副議長／山本 楯

議事録作成者 加藤 結 花

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者22名(うち理事17名)で、理事現在数19名の2分の1以上(10名)の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議 事

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

(1) 後援並びに共催について

① 一般社団法人愛知県鍼灸マッサージ師会(会長 山ノ下藤美雄)主催のマッサージ健康公開講座〔6/4(日)〕の後援について

② 愛知県主催の平成29年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動〔6/20(火)～7/19(水)〕の後援について

③ 朝日高齢者福祉セミナー実行委員会(委員長 内山治夫)主催の「朝日高齢者福祉セミ

ナー2017」〔7/9(日)〕の後援について

榎尾理事より説明され、1-(1)-①～③について一括承認を求め、承認された。

(2)スポーツドクター愛知県連絡協議会(会長 井戸田仁)主催の平成29年度スポーツドクター愛知県連絡協議会〔7/1(土)〕の後援並びに会場使用について
榎尾理事より説明され、承認された。

(3)バクバクの会～人工呼吸器と共に生きる(会長 大塚孝司)の行う「風よ吹け!未来はここに!!」ドキュメンタリーDVD上映会及び講演会 in 愛知〔6/24(土)〕の後援について
榎尾理事より説明され、承認された。

(4)平成29年度「愛知県生徒指導推進協議会」委員の推薦について

榎尾理事より説明され、学校保健部会幹事の松川武平先生(名古屋市医師会)を推薦することが承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下のNo. 1～3の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	5/8(月)	病院の認知症対応力向上事業 第1回認知症対応病院実地指導企画支援会議	501 会議室	野田理事 林理事
2	7/2(日)	心電図精度管理調査解析検討会	9階大講堂	吉田理事 瀬瀬理事
3	7/2(日)	平成29年度難病指定医研修	801～804 会議室	樋口理事 細川理事

3. 愛知県医師会医療政策研究機構委員の変更について

伊藤(健)理事より説明され、愛知県医務国保課の近田直之主幹から愛知県医務課の上田智広主幹へ変更することが承認された。

4. 病院の認知症対応力向上事業認知症対応病院実地指導企画支援会議のオブザーバーの変更について

野田理事より説明され、八木京子(健康福祉部 高齢福祉課)主幹から中村吉宏(健康福祉部 高齢福祉課)主幹へ変更することが承認された。

5. 平成 29 年 5 月 1 日付け職員の人事異動について

榎尾理事より、本件は人事案件であるため、本会議の最後に諮ると発言され、了承された。

内容について榎尾理事より説明され、承認された。

—協議事項—

6. 第 29 回日本医師会主催「指導医のための教育ワークショップ」〔7/15(土)・16(日)〕について

(日本医師会主催：晴海グランドホテル)

伊藤(健)理事より、7 月 15 日(土)・16 日(日)の 2 日間に亘り開催され、例年本会役員の中から 1 名参加していただいていると説明された。柵木会長より、例年新任の役員に参加をいただいおり、今回は浅井理事にお願いすると述べられ、承認された。

7. 入会金の徴収猶予申請について

西山理事より説明され、名古屋市医師会より申請があった、入会金徴収猶予申請が承認された。

8. その他

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日本医師会理事会〔4/11(火)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、理事打合会の3つの議題について報告された。

1. 日医医学会および分科会について：日本医学会の独立問題があつて間もないが、日本医学会連合も既に設立されている。専門医制度が発足すればほぼ全ての医師がいずれかの専門医になる。そうなれば専門科ごとに新たな学会が設立される可能性があり、医師会が骨抜き状態になるのではと危惧している。また、医学会、分科会は存続しても日本医学会そのものがなくなり、医学会連合と医師会が対立する可能性が出てくるのではないかとの質問があつたが、日医の横倉会長は、当面は話し合いにより解決できるので懸念はない。

2. 日本医師会テレビ健康講座について：日医が各地の医師会と協同し、「ふれあい健康ネットワーク」という番組をテレビ東京系列で放映しているが、視聴率が低迷しており、中止したらどうかとの意見があつたが、好評を博しており是非続けたいとの日医担当理事の説明であつた。

また、瀨瀨理事が日医の委員会で各都道府県及び地区医師会でも健康教育に取り組んでおり、日医で一本化していくのも一つの考え方であるとの提言をされた。

3. 事故調における死因究明のために病理解剖を積極的に勧める方策は？：妊産婦死亡の剖検件数は全死亡例143例の内49例であつた。もっと剖検するべきであり、システム作りを整備する必要がある。

2. 日医第3回医療政策会議〔4/14(金)〕について

(日本医師会主催：日本医師会館)

柵木会長より、「分断社会を終わらせる」というテーマで、慶應義塾大学経済学部の井手英策氏の講義があつたとしてその内容を報告された。

全体の34%が世帯収入300万円以下で、20年間で約2割低下した。バブル崩壊以降降がる一方である。日本は社会保障の給付が高齢者に偏っており、現役世代向けの給付が他国と比べてかなり低い。富裕層だけに税を課すというのは痛税感が強い。全員に税を課す。一部の富裕層の所得を取って、貧しい層に分けるといふ所得配分よりも全員にサービスを給付した方が痛税感がなくて皆の納得が得やすい。一律に税を課すということになると格差を縮小することができる。しかも現金ではなく、現物給付にする。その例として、消費税を上げることが良いだろう。特定の層ではなく、全体に税をかけるには、消費税が良い。また、所得格差がなくなれば、経済成長が見込まれ、財政再建にも繋がっていく。一般的には、デフレ状態が長く続き、物価が安くなっており生活が豊かになっていると感じられ、日本人は貧しくなっているという実感はない。しかし、統計では貧困層が増加しており、所得は相対的に減じているという話であつた。

【本会関係会議について】

3. 調査室委員会〔4/11(火)〕について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、経済・財政一体改革推進委員会第18回社会保障ワーキング・グループ、新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会報告書について私(大輪理事)より解説した。その他、MEDIFAX、Twitterについて解説、議論したと報告された。

4. 第4回愛知県医師会選挙管理委員会〔4/12(水)〕について

(803会議室)

檜尾理事より、名古屋地区の日本医師会代議員及び同予備代議員各1名の欠員に伴い、補欠選挙を6月17日(土)の第179回(定例)代議員会にて行う。タイムスケジュール等の確認をし、告示は愛知医報5月15日号、6月1日号で行うことが決定したと説明された。

5. 講演会・研修会等について

柵木会長より、詳細については本日開催の県下医師会長等協議会で説明がなされているので割愛するとされた。

伊藤(健)理事より、2次会への参加者を危惧していたが多くの方に参加いただいたと報告され、出席の先生方に謝辞を述べられた。また、柵木会長は、同じ会場での2次会は非常に良かったと感想を述べられ、続いて野田理事も、第2部の懇親会では、役員自ら研修医のところを回り、積極的に声をかけることにより、参加者の意見・質問等を聞くことができ、大変有効であったと感じたとの感想を述べられた。

杉田副議長より、名古屋市医師会長の立場として、昨年と比較すると参加者が減少していることから、来年はゴールデンウィーク過ぎの開催を計画していると発言され、伊藤(健)理事は、神奈川県等での実施方法を参考に、県や東海北陸厚生局の協力を得る形で来年の開催を考えたいと結ばれた。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	4/15(土)	名古屋市医師会・愛知県医師会新研修医並びに指導医ウェルカムパーティ	130名	伊藤(健)理事 伊藤(富)理事

【行政、その他関係団体等会議について】

6. 東海北陸地方社会保険医療協議会総会〔4/11(火)〕について

(東海北陸厚生局主催：ホテルサンルートプラザ名古屋2階孔雀の間)

城副会長より、医科・歯科を含めた平成27年度における保険医療機関等の指導・監査等の状況について、指導・監査等の実施件数、取消等の状況、返還金額等の説明を資料に沿ってなされた。また、1. 施設基準関連 2. 医療情報システム関連 3.

診療関連 4. 看護・食事関連 5. 請求事務関連の 5 つの項目の主な指摘事項が記載されているので参考にさせていただきたいと結ばれた。

7. 支払基金幹事会〔4/12(水)〕について

(支払基金主催：支払基金)

城副会長より、参与の委・解嘱については、愛知県の医務国保課の改編によるものであると説明された。また、平成 29 年 1 月審査分の状況、請求レセ 1 件当たりの請求点数、原審査査定件数、返戻割合、査定点数等について説明された。

8. 特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち第 1 回運営委員会〔4/12(水)〕について

(特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち主催：

特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち事務所)

細川理事より、平成 26 年度の愛知県特定健診等実施率(受診率)について報告された。国は 50%以上の受診率を目標としているが、愛知県市町村国保の受診率は 38.2%で全国 17 位であった。市町村国保で 50%を超える県は皆無である。

また、全保険者の受診率は、50.4%で全国 14 位。50%を超えた県は 15 県に上っている。その他、名古屋商工会議所会報誌「那古野 BUSINESS HOTPRESS」4 月号に、受診勧奨の無料広告を掲載することとなった。

柵木会長より、特定非営利活動法人健康情報処理センターあいち以外で特定健診を実施する所はないかと質問され、細川理事は、今は全くないと答えられたが、厚労省は受診率を上げるため、「医療機関で診療を受けている患者さんのデータの報告をもって、特定健診を受診したとこととする」との話も出ている。健康者の受診率を上げることが目的であり本末転倒ではないかと結ばれた。

【その他事項について】

9. 優良助産師の厚生労働大臣表彰受章について

大輪理事より、推薦者 3 名中、真野真紀子氏が受章することとなったと報告された。

10. 平成 29 年度愛知県看護功労者表彰について

大輪理事より、推薦者 8 名中、織田敏子氏、吉田喜代子氏、宮本みち子氏、益田サヨ子氏、尾崎真代氏の 5 名が表彰されることとなったと報告された。

11. その他

・来年の名古屋市医師会・愛知県医師会新研修医並びに指導医ウェルカムパーティについて

伊藤(富)理事より、女性医師のキャリア形成について説明させていただきたいと依頼され、次回の検討事項とすることが了承された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成29年4月20日